

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	2 年次・前期・選択
	対象学科・専攻	土木工学専攻
土木工学特別講義 (Special Lecture in Advanced Civil Engineering)	担当教員	非常勤
	教員室	土木工学科事務室
	E-Mail	代表：土木工学科専攻長に同じ
教育形態 / 単位数	講義 / 2 単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分) + 自学自習 (200 分)〕 × 15 回	
〔本科目の目標〕 専門工学である土木工学に関するタイムリーなトピックなど、最新の技術動向を教授できる非常勤講師が任用できた場合、集中講義による講義を行うことにより、土木工学関連の技術的諸問題に実践的に応用できる知識及び能力を養う。特に土木・建設部門の企業の立場から見た最先端の技術動向を取得し開発型技術者を育成することを目標としている。		
〔本科目の位置付け〕 現在、企業等の開発・設計やものづくりの現場において活躍されている技術者に非常勤講師として講義してもらうことにより、企業現場の立場からみた最先端の技術動向を修得し、専攻科の教育目標にある開発型技術者を育成するための講義である。		
〔学習上の留意点〕 集中講義によって実施される講義であるため、非常勤講師による講義計画にしたがって受講すること。また、当該授業は民間等の外部の講師によって授業されるため、良識と節度を持って受講すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
最新の技術動向など、土木・建設に関するタイムリーなトピックスを含めた講義を行うため、招聘する非常勤講師によって授業要目は変わる。 したがって、本項目のほかに時間数および理解すべき内容とともに正式に非常勤講師が任用され、授業日程が決定した後に本シラバスを作成して配布する。	30	土木・建設に関する最先端の技術動向
〔教科書〕 非常勤講師により指定 〔参考書・補助教材〕 非常勤講師により指定		
〔成績評価の基準〕 講義、教育方法および評価方法については、担当の非常勤講師によって集中講義される最初の時間に十分に説明される		
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕 3-3 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-3 〔JABEEとの関連〕 (d)(2)c)		